

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年09月17日

計画の名称	大和西大寺駅へのアクセス向上による快適な歩行者空間の整備（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	奈良市													
計画の目標	- 南北駅前広場、南北自由通路、橋上駅をバリアフリー動線で結ぶことにより、通勤通学や観光等を目的に大和西大寺駅や周辺施設を利用される高齢者や障害者等が、駅を安心して利用できる環境や、駅南北間を自由に往来し周辺施設を利用できる環境を整える。 - 近鉄大和西大寺駅は交通結節点であることから各交通手段からの円滑な乗り換え動線を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		10,789	A	10,789	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H31末	H33末
1	近鉄西大寺駅歩行者専用道（南北自由通路）の整備に伴い大和西大寺駅西側（あやめ池8号踏切）の歩行者交通量2,779人（H29）から2,266人（H33）に減少。 近鉄西大寺駅歩行者専用道（南北自由通路）の整備に伴い大和西大寺駅西側（あやめ池8号踏切）の歩行者の交通量を計測する。	2779人	2779人	2266人
2	近鉄西大寺駅歩行者専用道（南北自由通路）の整備に伴い南北間の歩行者の往来にかかる時間を2分30秒短縮する。 近鉄西大寺駅歩行者専用道（南北自由通路）の歩行者所要時間を調査する。	300秒	300秒	150秒

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	区画	改築	近鉄西大寺駅南地区（（都）西大寺阪奈線外2線）	区画整理（南北自由通路） A=30ha	奈良市	■	■	■	■	■	6,456		—	
	A01-002	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	S街路	改築	近鉄大和西大寺駅北口駅前広場	A=4,000㎡	奈良市	■	■	■	■	■	4,333		—	
											小計							10,789		
											合計							10,789		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
奈良市都市整備部駅周辺整備事務所で実施	令和6年9月
	公表の方法
	奈良市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・南北駅前広場、南北自由通路を整備したことにより、通勤通学や観光等を目的に大和西大寺駅や周辺施設を利用される高齢者や障害者等が、駅を安心して利用できる環境ができた。 ・駅南北間往來を自由に周辺施設を利用できる環境を整えた。 ・南北間の歩行者所要時間を短縮し、各交通手段からの円滑な乗り換え動線を確保できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・コロナ禍後の停滞を抜け出し、近鉄西大寺駅南口には新しい商業施設ができており、北口のデパート（大型商業施設）とのアクセス道路として市民の利便性向上に寄与している。

○特記事項（今後の方針等）

北口においては商業ビルの建設が行われており、南北のアクセス道路としての重要性がより一層増していくと考えられる。そのため歩道の整備を促進し、人にやさしいまちづくりを進めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	2266人	自由通路の整備を行い、8号踏切を利用する歩行者が減り目標を達成できた。
	最 終 実績値	1492人	
2			
	最 終 目標値	150秒	目標を達成できた。
	最 終 実績値	101秒	